

秘伝二の巻

忍者市の暮らしを伝授

伊賀の暮らしを伝授する

歴史の中で生まれた忍びのこころは、
伊賀の里に暮らす人によって
現在まで変わらずに受け継がれてきました。
秘伝二の巻では、
忍びのこころ息づく
伊賀人の暮らしを伝授します。





◆ 伊賀流

- 一、子育ての術 ————— 21ページ
- 二、教育の術 ————— 23ページ
- 三、健康福祉の術 ————— 25ページ
- 四、人権の術 ————— 27ページ
- 五、暮らしの術 ————— 29ページ
- 六、安全・安心の術 ————— 30ページ

360度
VR

「にんにんパーク」が併設された 上野南公園

走る、投げる、跳ぶなど体を使い親子でふれあいながら遊べる広場です。「にんにんパーク」では、にんにんタイムなど体を使った遊びを行う「体を動かすの巻」、休日でも保育士に子育ての悩みなどを相談できる「相談の巻」、幼児用忍者衣装を貸し出す「変身の巻」などを実施しています。

みんなで支える！ 伊賀市の子育て



子どもは伊賀の宝

豊かな自然と温かい人に囲まれた伊賀市は子育てに最適なまちです。この環境の中で子育てを応援していくため、市では「伊賀流 未来応援の術」として出会いから子育てまで一体的な子育て支援を実施しています。各子育て支援センターでは親子で楽しめるイベントを開催し、気軽に相談や交流ができる場を設けています。また、子育て特設サイトや相談窓口も設置し、必要な支援が受けられる体制を整えています。



いがファミリーフェスタ

講演会やワークショップを通じて、親子や参加者同士で子育てについて一緒に考えながら交流できるイベント。



にんにんタイム

パワフルな幼児を育てるため市内の保育所等で毎日実施している運動あそびの時間。忍者修行や集団あそびなどが行われます。

「相談してください!!」

忍法

伊賀市の 子育てを伝授!

妊産婦の方を対象に、妊娠初期から子育て期まで切れ目のない支援を行っています。一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな相談を心がけています。



母子保健コーディネーター
宮田 利恵さん

おしえて

具体的にはどんなことをしているの?

母子健康手帳を交付する時に面談を行い、必要であれば一緒に支援プランを作成しています。また、産婦人科などの医療機関との調整や、電話相談を含めた子育て相談も行っています。

おしえて

伊賀市で子育てする魅力とは?

自然に囲まれた環境で、快適に子育てができる点ですね。子どもの医療費や第3子以降の保育料が無料化されている他、子育て支援センターも市内に8ヶ所設置されています。

忍務

伊賀市の子育て支援制度を知ろう!

■ 第3子以降の保育料無料

生計を共にしている兄弟が2人以上いる児童の保育料を無料化。兄弟の年齢制限もありません。

■ 子どもの医療費窓口無料

保護者の所得に関係なく、市内在住で小学校就学前の子どもを対象に医療機関窓口で支払う医療費を無料化。

■ 不妊治療費助成事業

一般不妊治療に加え、特定不妊治療、男性不妊治療を受けた夫婦を対象に費用の一部を助成しています。

■ ウェルカムベビー教室

妊婦とその家族を対象に妊娠中の生活や育児体験等を通して学べる教室を開催。ママづくりの場としても活用できます。

■ 妊娠・出産の電話相談

保健師等に妊娠・出産についての悩みを気軽に相談できる電話窓口を設置しています。

■ ファミリー・サポート・センター事業

事前登録することで必要な時に、アドバイザーが子どもを預かってくれる人を探します。

1



2



3



4



1 子育て包括支援センター「キラキラ」

2 忍にん子育てサポートの術

3 子育て特設サイト「伊賀流 未来応援の術」

4 産後ケア事業



次代を担う IGABITO を育む

心豊かな子どもに

子どもたちが個性を伸ばし夢を追い求められるよう、一人ひとりが確かな人生観のもと心豊かで健やかに成長する教育を実施しています。特に重要視しているのが「確かな学力の保障」「人権・同和教育の充実」「キャリア教育」の3点で、これらを進めるための具体的な取組内容を学校ごとにマニフェストとして掲げています。また、地域に愛着や



非核平和推進中学生広島派遣事業

市内各中学校の生徒からなる派遣団を結成し、広島市で8月6日に開かれる平和記念式典に派遣。核兵器のない平和な世界を願い毎年実施しています。

成人式 実行委員会による 成人式の運営

新成人を中心にした実行委員会を中学校区ごとに結成。生まれ育った地域の成人式を企画・運営することで郷土愛を醸成しています。



県立高校における IGABITO育成プロジェクト

市内の各高校と連携し、生徒による地域活性化のためのアイデア発表や特産品開発など、様々な取組を進めています。

誇りを持ち、成長した後も伊賀の魅力を発信できる子どもを育むため、郷土教育も重要視しています。さらに「IGABITO育成」として、子どもたちが自ら地域の魅力を発見・創出し、発信する取組を進めており、愛着ある伊賀の発展を担える存在になれるよう支援しています。



「伊賀市若者会議」について学ぼう!

より良い伊賀づくりへの意欲と実行力を持った若者を発掘・育成するために「伊賀市若者会議」を発足しました。伊賀市に関わる若者によるメンバーがPR活動などを行う「プロジェクト活動」と、アイデアや伊賀に対する思いをカタチにする「企画会議」等の活動をしています。



伊賀上野シティマラソンなど
市内イベントの企画会議に参加



市の未来を考える
まちづくりラウンドテーブルに参画



忍にん体操

忍者の軽やかな動きと精神を取り入れた伊賀市オリジナルの健康体操。子どもから高齢者まで幅広い世代に親しまれています。



「お薬手帳は一冊」運動

お薬手帳を1冊にまとめ円滑な支援が受けられるようにする運動を展開中です。便利な機能が付いたオリジナル手帳カバーも作成しました。

伊賀で ずっと しあわせに

福祉先進地として

伊賀市では、すべての市民が住み慣れた地域で活躍できるまちづくりを進めています。市民が将来にわたって健康に暮らすことができるよう、「忍にん体操」を中心に気軽に運動できる環境を整えています。また、認知症の人やその関係者が気軽に集まれる「いがオレンジカフェ」などの交流の場を設置。相談体制の充実と併せて、高齢者や障がいのある人などがやさしさあふ

れる見守りの中で安心して暮らせるまちづくりを進めています。

さらに、万が一の病気や事故の際に市民が適切な医療を受けられるよう、医療体制のさらなる向上や地域医療拡大に向けた取組を推進。伊賀地域の医療の拠点となっている伊賀市立上野総合市民病院の整備をはじめ、効果的な医療環境をつくっています。



いがオレンジカフェ

認知症への理解促進と介護者の負担を軽減するために開設。認知症の人や家族、地域住民など誰もが気軽に集える場所です。参加者との交流を楽しんだり、スタッフに日頃の悩みを相談できます。



整備された病院設備

安心して適切な診療を受けられるよう、より精度の高い最新の病院設備の導入を進めています。





伊賀市立上野総合市民病院

60年以上に渡り質の高い医療を通じて地域を支えてきた伊賀地域の中核病院。県のがん診療連携病院に指定されており、先進的ながん診療が可能です。



入院支援室



脊髄顕微鏡下手術



胆膵内視鏡術(ERCP)



3D内視鏡手術

誰もが 自分らしく 過ごせるまち



市民による人権作品

人権啓発に関する作品(ポスター、標語、作文)を公募し、優秀作品を表彰しています。毎年小中学生から一般まで15,000件以上もの応募があります。

誰もが輝く社会へ

人権が保障され、多様性が認められる文化が息づくまちにするため、同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向けた活動に市一丸となって取り組んでいます。市民の誰もが人権について自分から学ぶことができるよう、市内の様々な組織との連携のもと講座や啓発イベントを開催。近年ではLGBT当事者を支援するため同性パートナーシップ制度を開始し、性の多様性の正しい理解を広め、誰もが自分らしく暮らせるまちに向けた取組も進めています。



全国で3番目に開始! 伊賀市パートナーシップ宣誓制度

平成28年、同性カップルの宣誓書を市が受け取り、結婚に相当するパートナーとして認め、受領証を交付する制度を全国で3番目に開始しました。



記念セレモニーの様子



差別をなくす強調月間

11月11日～12月10日を「差別をなくす強調月間」とし、市内各地で人権イベントを開催しています。

男女共同参画ネットワーク会議

男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる、男女共同参画の形成を目指しています。





ひゅーまんフェスタ

人権意識の向上をめざすイベントです。人権に関する講演会の他、関係団体による啓発コーナーが設置され当日は多くの人でにぎわいます。

伊賀市はちょうどいい田舎ですね。地元の人も温かく迎え入れてくれて、故郷を離れた私たちにとっても寂しさを感じないまちだと思います！

多文化共生センター

市内の多文化共生を進める拠点施設です。暮らしの情報や外国人観光客のための観光情報を多言語で発信しています。外国人と日本人の住民交流イベントも開催しています。



多文化共生センターの外観



多文化共生センター
職員
坂田 春恵さん



多文化共生センターの内観

暮らしに最適なまち

豊かな自然の中にありながら、程よく便利な生活を送ることができる伊賀市。大阪や京都、名古屋などの都市に近く、保育所や病院、スーパーといった生活施設がそろっています。また、地域のつながりも深く、安心して生活を送ることができます。

平成28年(2016)からは、県内初となる移住・交流の専門部署を設置し、移住コンシェルジュによる移住の総合相談や移住後のフォロー、東京などで移住のPR活動を行っています。



おだやかな生活環境

雄大な自然(青山高原)

伝統ある教育環境(三重県立上野高校)

360度
VR

のびのびとした 伊賀暮らしを堪能

移住コンシェルジュに聞いてみました！

伊賀市の暮らしの魅力は？

おしえて

伊賀市で暮らす魅力は何ですか？



豊かな自然や伝統文化、都市部へのアクセスが良いこと、また伊賀米や伊賀牛、お酒などの美味しい地元食材が魅力ですね。災害も比較的少なく、自然に囲まれた暮らしや子育てを希望される方におすすめのまちです。



おしえて

暮らすうえで不便なことはありませんか？

夏は蒸し暑く、冬は寒さが厳しいです。日中の寒暖差も大きく、盆地特有の気候ですね。ただ、この気候が農作物やお酒、伊賀牛などの美味しさを引き出してくれます。移住された方も寒さ対策を考えながら暮らしを楽しんでいますよ。

忍務

伊賀市の移住支援
制度を知ろう！

■ 伊賀流空き家バンク

市町村で全国初となる住宅診断、住宅性能評価、不動産鑑定士のしくみを取り入れた高い信頼性が特徴です。

■ 空き家取得費補助金

移住促進と空き家の活用のため、市へ転入する人が空き家を取得する際の経費の一部を補助します。

■ 伊賀市移住交流体験会

まち歩きしながら伊賀の暮らしを体感できる体験セミナー。移住コンシェルジュが案内します。

■ 伊賀市移住交流ポータルサイト「iga-style」

移住に関する情報から市の魅力、イベント情報まで、暮らしについての便利情報を網羅した特設サイトです。



力をあわせ 里を守る



地域おこし協力隊

住民自治協議会と協力して、地域課題の解決や地域を盛り上げる活動を行っています。また、フェイスブック等で活動を発信して、地域の魅力を伝えています。

自分の地域を守る

伊賀市では、地域に住むあらゆる人が自由に参加でき、地域が抱える身近な課題を話し合い、解決できる場として、住民自治協議会が組織されています。高齢者・子どもの見守り活動や防犯・防災活動など、誰もが安心して豊かに暮らせるまちにするための活動をしています。



総合防災訓練

毎年秋に市民や警察、行政と消防が一体となって実施します。災害が起きた際に円滑な対応ができるよう、それぞれの役割に沿って訓練しています。

住民自治協議会

地域課題を解決するために各地域の住民主体で自発的に設置している協議会。会ごとに地域まちづくり計画を策定し活発に活動しています。

